

2020 年度 RDAJapan

写真コンテスト結果発表！

コロナ禍で活動するのも難しい中で力作をご応募いただきました皆様、有り難うございました。厳正なる審査の結果、大賞や入賞作品が選ばれました！受賞された皆様、おめでとうございます！

入賞作品につきましては、ホームページに掲載させていただきます。また、2021 年度の RDAJapan のホームページ並びに Facebook の表紙等を飾らせていただきます。

<RDA Japan 賞>



「跳べ！」 斎藤会里氏

RDA 活動馴致中のポニー、磨くん。

日々のトレーニングを重ね、遂に障害も跳べるようになりました。小さな体で、一生懸命に跳ぶ磨くんが、格好良く撮れた写真です。

～選評～

ここぞというシャッターチャンス、整理された背景、ピントもばっちり、さらにポニーの磨くんの表情も馬上の人の必死のお顔もはっきりわかります。

iPhone で撮影されたそうですが、決まりましたね！
すごいです。

<審査員特別賞>



「元旦の朝」大橋翔氏

コロナ禍で迎えた 2021 年元旦。

例年であれば、公園に行き、乗馬体験を行うはずでした。

残念ながらイベントは中止となってしまいましたが、スタッフのみで外乗に出かけました。

空は快晴で澄み渡り、新年の幕開けを祝福するかのようでした。

密を考慮して遠くからの撮影です。

～選評～

空と雲と、丘の上の馬たち。コロナ禍の元旦、密を避けて遠くから撮影されたとのことですが、心が解放されるような写真ですね。きっと馬上の人たちも同じことを感じているのではないのでしょうか。

欲を言うと、前に行く人たちが騎乗している馬の姿がもう少し写っていたら、最高の 1 枚になったと思います。

<入選>



「福ちゃんの力」大坪渚氏

総勢 11 人で 15km の道を、福ちゃんと共に散歩をしました。小学生の低学年の子から、大人は、40 代の方々まで様々な方々と力を合わせて歩き切る事ができました。みんなで交代交代で、福ちゃんに乗馬させてもらいながら散歩をしました。福ちゃんに乗せてもらおうと、みんな笑顔が溢れかえり、とても楽しいみんなの思い出になりました。地域の方々も、馬を見ると喜んでくれて、昔は、農業を行う上で大切なお仕事を馬がしてくれたんだよなど、飛騨高山の、貴重な歴史も生で聞くことが出来て驚きと、発見が沢山ありとても楽しかったです。福ちゃんのおかげで、楽しい時間を過ごすことができ、僕の故郷飛騨高山丹生川の、魅力を改めて感じる事が出来てとても良かったです。馬には、僕らがもっていない、人を元気にする力があるので、これからも、木曾馬の福ちゃんと共に様々な挑戦や、ホースセラピーを行っていきたいです！身体が不自由な人にも馬に乗ってもらいたいの、器具などもこれから活用していけるようにがんばります！

～選評～ 木曾馬福ちゃんの優しさや風景の美しさが伝わります。総勢 11 人で 15 kmも福ちゃんと一緒に歩いたとは、なんて素敵なイベントでしょう。かつて木曾馬は丈夫な上に女性や子供でも扱えるほど大人しく人に従順だったといわれます。このような活動に木曾馬が力を発揮しているのは嬉しい限りです。福ちゃんを大切にして、これからも一緒にがんばってください。

<入選>



「みんなで並んで」神山紗輝氏

数年前、みんなで多摩川に外乗に行ったときの 1 枚です。

外でも、いつもどおりの距離一馬身を保って騎乗しています。

いつもと違う場所でも、いつもどおりにできる、日々の努力の賜物だと思います。

等間隔に並ぶ馬のお尻と、開放的な風景が気に入りの一枚です。

～選評～ 多摩川河川敷にもこんな場所があるのですね。

等間隔で隊列を組むのはなかなか大変だと思いますが、皆さん、すごく上手に乗っていらっしゃいますね！

それが伝わるのは、撮影された方が構図を考えながら馬の動きをよく見て切り取った写真だからだと思います。

<入選>



「ふかふかオガベッド」吉田泰大氏

ご覧の通り、何も言うことはありません。

とても気持ちが良い、思わず口が緩んだところを写真に収められました。

～選評～ 撮影者ご本人もおっしゃっていますが、「何も言うことはありません」。このお馬さんの気持ちよさそうな寝顔を見れば、誰でも笑顔になることまちがいありませんよね。それもまた馬の力でしょうか。

<入選>



「集合ー！」福田りほ氏

コロナ禍で、イベントが全て中止になる中、昨年度唯一撮影できた集合写真です。

マスク着用、消毒などの感染対策を講じて、満足に活動ができない1年でしたが、

2021年は少しでも乗り手の皆様とお会いできることを願っています。

～選評～ コロナ禍の記念写真！

すごくよく撮れていますね。

2021年、皆様の活動を応援する気持ちで一票！

<入選>



「熱血指導Ⅱ」池田茂氏

大きな馬に乗り換えて日が浅いので悪戦苦闘中！

～選評～ マスクでお顔が見えないけれど、馬上の彼はカッコいいですね。指導者の方が手取り足取り、いろいろ工夫されていらっしゃる事が伝わります。

総評 <高草操カメラマンより 一ひとロアドバイザー>

今回もいろいろな角度から「馬上の笑顔の記憶」をとらえていらっしゃる方が多く、写真がバラエティに富んでいました。おかげさまで、皆様がいろいろな工夫をされて活動されていることがわかり、私もとても勉強させていただきました。改めて馬が持つパワー、その魅力を感じます。

コロナ禍で活動が限られることが多いですが、皆様の写真を拝見して、希望をもって馬たちと向き合い、そして馬たちと力を合わせて新しいことに取り組んで行くことが大切だと、改めて思いました。

高草操カメラマン略歴

「人と共に生きる 日本の馬」で2020年度JRA賞馬事文化賞を受賞

フリーカメラマンとして馬・馬に関わる人・風土をテーマに日本全国・海外でご活躍です。

現在「日本列島、知恵プロジェクト」というサイトで、日本の在来馬や日本の馬世界取材した記事と写真を連載中です。